

NO!

安全保障法制

「戦争法案」

「戦争する国」STOP!

「平和」の名で、「戦争する国」へと日本を180度変えようとする「戦争法案」が国会に出されています。

いつでも、どこでも、切れ目なく米軍支援

新法である「国際平和支援法案」は、いつでもどこでも米軍主導のあらゆる戦争に自衛隊派兵をねらう海外派兵恒久法です。テロ特措法・イラク特措法などの法律をいちいちつくらなくても、切れ目なく米国の戦争支援に出動できるようになってしまいます。

一括法案、スピード審議で、米国との約束通り「夏までに成立」ねらう

「平和安全法制整備法案」は、自衛隊法や周辺事態法など10本の法律をすべて「戦争する国」用につくりかえるものです。武器の使用も大幅に拡大。憲法破壊の法案は許されません。

日本が攻撃されていなくても

「国際の平和と安全のため」

「日本の平和と安全に重大影響」

「国際平和支援法」
(新規立法)

「重要影響事態安全確保法」
(周辺事態法を改定)

他国の戦争を軍事支援

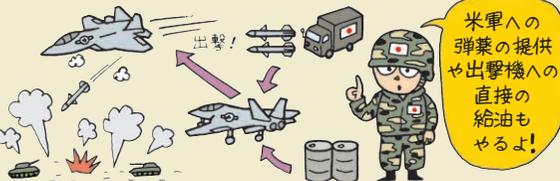


●国会承認=事前承認だが、各院7日以内の努力義務

●国会承認=事後承認も可

「戦闘地域」で軍事行動OK!? 自衛隊のリスクは格段に増大する

これまで「非戦闘地域」に限られていた自衛隊の活動を、戦闘地域での危険な後方支援(補給・輸送・医療など)、搜索救助活動、武器輸送や弾薬提供まで拡大します。殺し殺される戦争に自衛隊が送られ、リスクは大きく増大します。



政府の判断一つで他国の戦争に参加?!

日本が攻撃されていないのに、「存立危機事態」として他国の戦争に参加。



えっ、こんなケースも「存立危機事態」?!

政府答弁

- エネルギー危機、経済的危機
- 米国など他国への武力攻撃
- 日米同盟に深刻な影響を与える事態

国連が統括しない活動やPKO活動で危険な治安維持業務にも参加。

多数の死者生むおそれ

資料：なくそう！日米軍事同盟・米軍基地
2015年日本平和大会 in 富士山学習パンフ